浅口市 アッケシソウ自生地の地域保護活動

浅口市の南端に位置する寄島干拓地には、本州唯一のアッケシソウ自生地（市指定天然記念物）があります。

浅口市寄島町アッケシソウを守る会は、平成 16 年からアッケシソウ自生地の保護活動に取り組んでいます。活動は、年 4 回の草刈り、9 月の開花時期の観察会「緑のアッケシソウを楽しむ会」、10 月頃の紅葉時期の「アッケシソウ祭り」を開催しています。また、自生地の巡視、地元義務教育学校への出前講座や会報誌『アッケシソウ通信』の発行を行っています。

当会は、自生地及び周辺の環境保全を図ると共に、地域の大切な資源であるアッケシソウの保護を通じて、地元のスポーツ少年団、高校生や企業の方々から、環境整備活動にご協力をいただいています。

当会の保護活動は、浅口市の補助金の支援を受けて、活動に役立てています。

主な活動主体	浅口市寄島町アッケシソウを守る会・浅口市
保護動植物の位置付け	岡山県版レッドデータブック 2020：絶滅危惧Ⅰ種 環境省レッドリスト 2020；絶滅危惧Ⅱ類

活動状況（写真提供：浅口市教育委員会）



（写真掲載）

